

概 要

朝霞地区 4 市共用火葬場設置 基本構想（素案）について

朝霞地区 4 市共用火葬場設置検討協議会

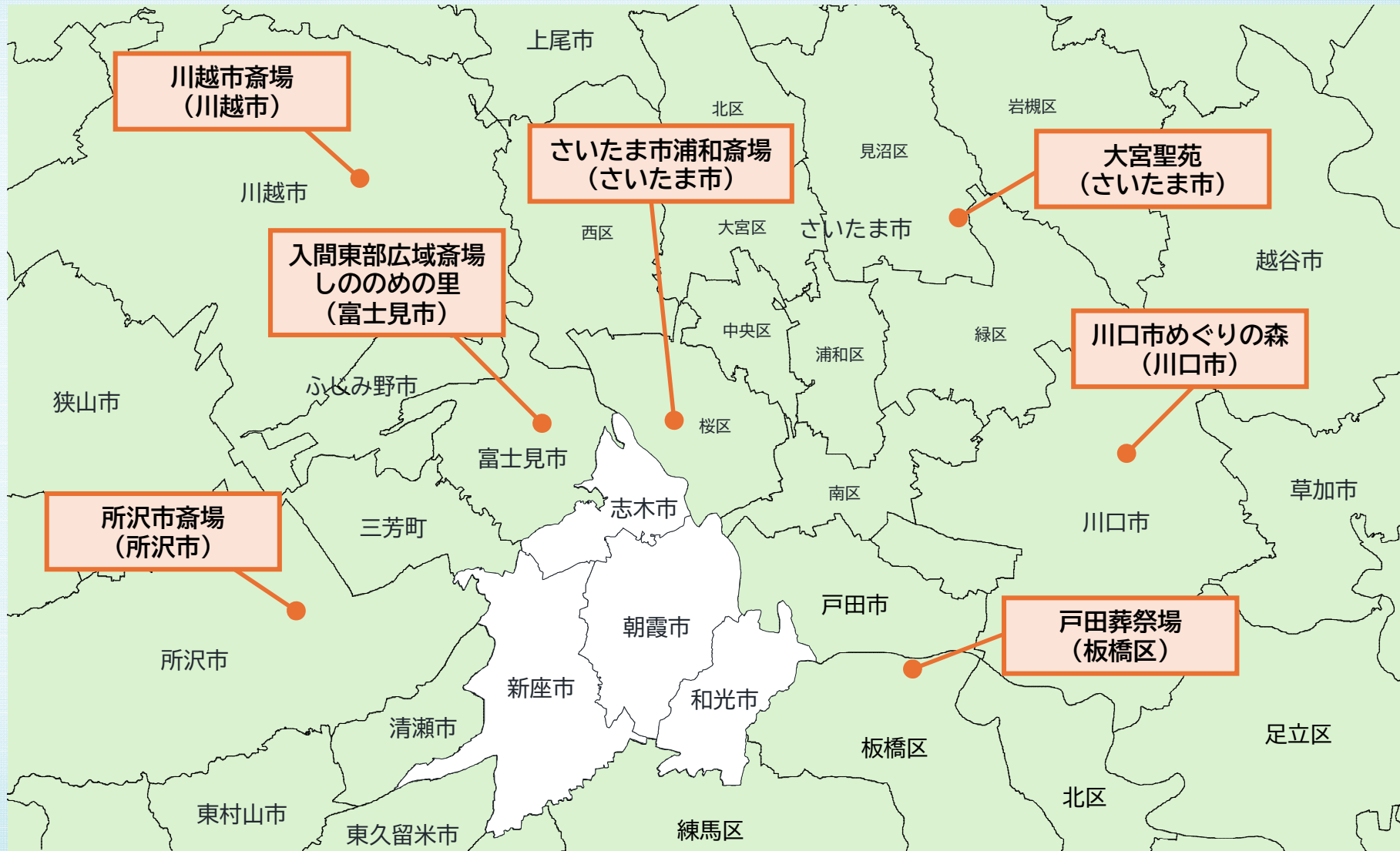
目次

- I. 基本構想の目的
- II. 朝霞地区4市の現状
- III. 火葬場整備の必要性
- IV. 整備候補地の検討
- V. 施設概要（予定）
- VI. 施設整備スケジュール

I. 基本構想の目的

- ・ 長期的・総合的な観点から
朝霞地区4市における適正な火葬体制の
確立と周辺環境に配慮した火葬場建設を
検討すること。
- ・ 住民との合意形成に努めながら
火葬場の整備を計画的に推進していくため、
課題を整理し、基本的な枠組みとして、
施設整備の方向性を導き出すこと。

Ⅱ. 朝霞地区4市の現状（１）近隣火葬場の位置図



Ⅱ. 朝霞地区4市の現状（2）近隣火葬場の利用状況

＜4市民の近隣5施設の利用状況＞

令和6年度調査

施設名称	朝霞市	志木市	和光市	新座市
戸田葬祭場 (民設民営)	①78.7%	②40.2%	①94.9%	①71.7%
入間東部広域斎場 しののめの里	②15.3%	①42.1%	②1.8%	②14.3%
さいたま市浦和斎場	③3.1%	③11.0%	③1.5%	⑤3.4%
川越市斎場	④1.8%	④5.0%	④1.4%	④3.8%
所沢市斎場	⑤1.0%	⑤1.8%	⑤0.3%	③6.7%

Ⅱ. 朝霞地区 4 市の現状（3）近隣火葬場の稼働率

<近隣 5 施設の稼働状況>

令和 6 年度調査

施設名称	火葬の稼働率
所沢市斎場	98.1%
さいたま市浦和斎場	88.1%
入間東部広域斎場しののめの里	87.9%
川越市斎場	82.3%
戸田葬祭場（民設民営）	59.8%

Ⅱ. 朝霞地区4市の現状（４）近隣火葬場の利用料金

＜近隣5施設の火葬の利用料金＞

令和6年度調査

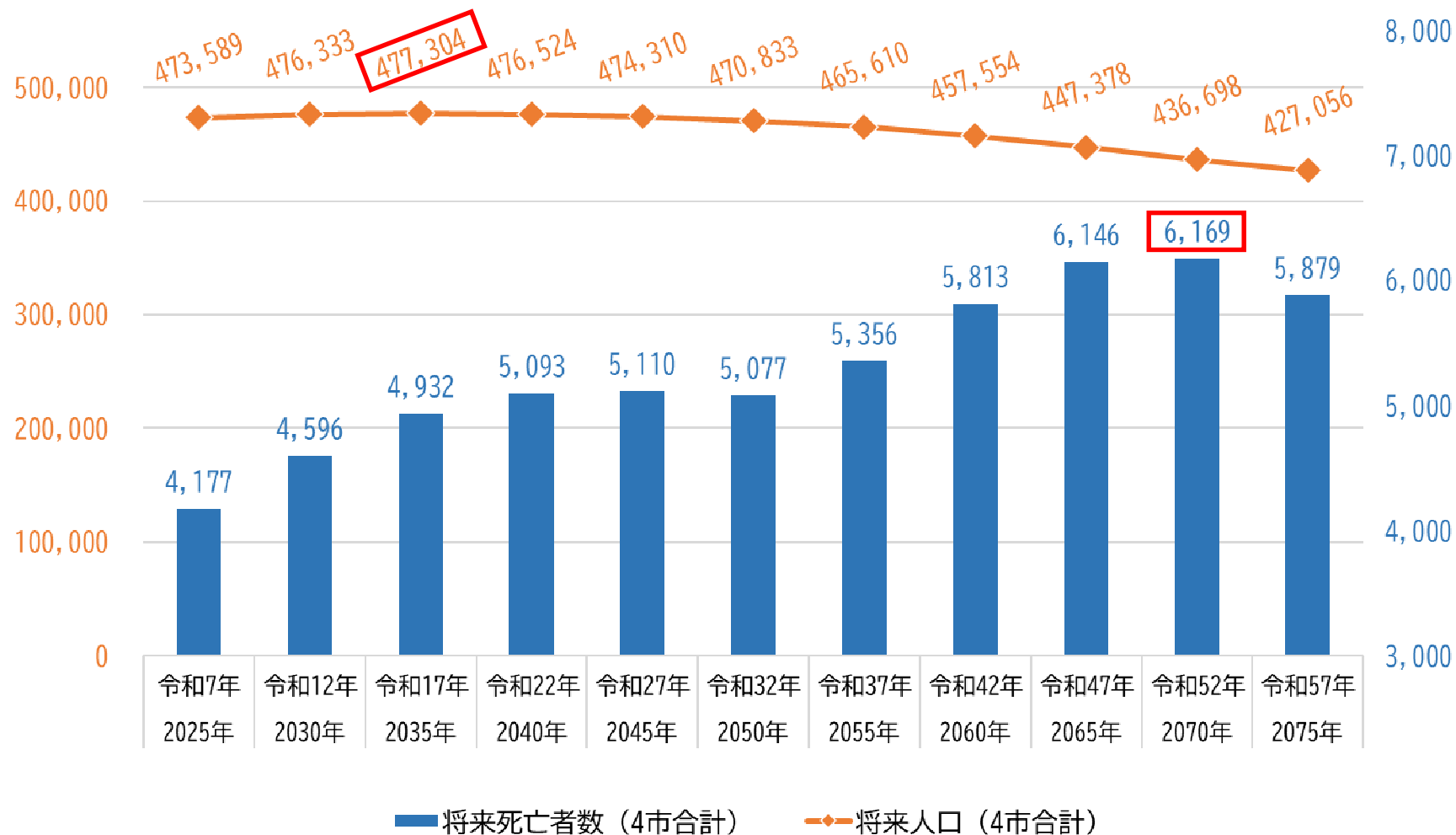
施設名称	市（区）内	市（区）外
戸田葬祭場（民設民営）	59,600円	80,000円
入間東部広域斎場しののめの里	10,000円	80,000円
さいたま市浦和斎場	7,000円	56,000円
所沢市斎場	5,000円	60,000円
川越市斎場	無料	48,000円

※「12歳以上」あるいは「大人」で比較

Ⅱ . 朝霞地区 4 市の現状（５） 4 市における将来人口推計及び死亡者数の推計

将来人口（人）

将来死亡者数（人）



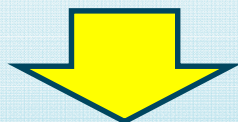
Ⅲ. 火葬場整備の必要性

【現状】

- ・ 朝霞地区4市の市民は、地区内に火葬場がないため、近隣市や民間の火葬場を利用している。
- ・ 利用可能な時間帯などにおいて、優遇を受けることができていない。
- ・ 利用料金が、火葬場を所有している自治体の市（区）民と比較して、高い水準となっている。
- ・ 市民や市議会からも火葬場設置の要望がある。

【今後】

- ・ 4市の高齢化の更なる進行やそれに伴う死亡者数の増加が見込まれる。
- ・ 高齢多死社会を迎えると、各施設の稼働率が上がると考えられ、火葬場を所有している自治体の市（区）民が優先となり、4市の市民は、利用の制約が想定される。
- ・ 災害時において、利用の制約が想定されている。



4市共同の火葬場を設置する必要性は高い。

IV. 整備候補地の検討（１）候補地の選定

○整備候補地は、下記の理由により選定した。

- ・ 4市の中の公有地として大規模な土地（約23,000㎡）
- ・ 将来的に敷地北側に一般国道254号和光富士見バイパスが整備予定
- ・ 近隣河川の浸水想定エリアであるが、敷地の嵩上げ等により浸水対策を行うことが可能
- ・ 火葬炉（16炉）を運用するために必要な施設規模（式場や駐車場含む）を検討した結果、整備候補地の敷地内に設置可能



所有者	志木地区衛生組合 ・ 志木市
所在地	志木市下宗岡一丁目7209-1内ほか 市街化調整区域
面積	約23,000㎡

IV. 整備候補地の検討（２）候補地の位置図



IV. 整備候補地の検討（3）候補地の案内図



IV. 整備候補地の検討（４）候補地の敷地図



V. 施設概要（予定）（１）施設概要

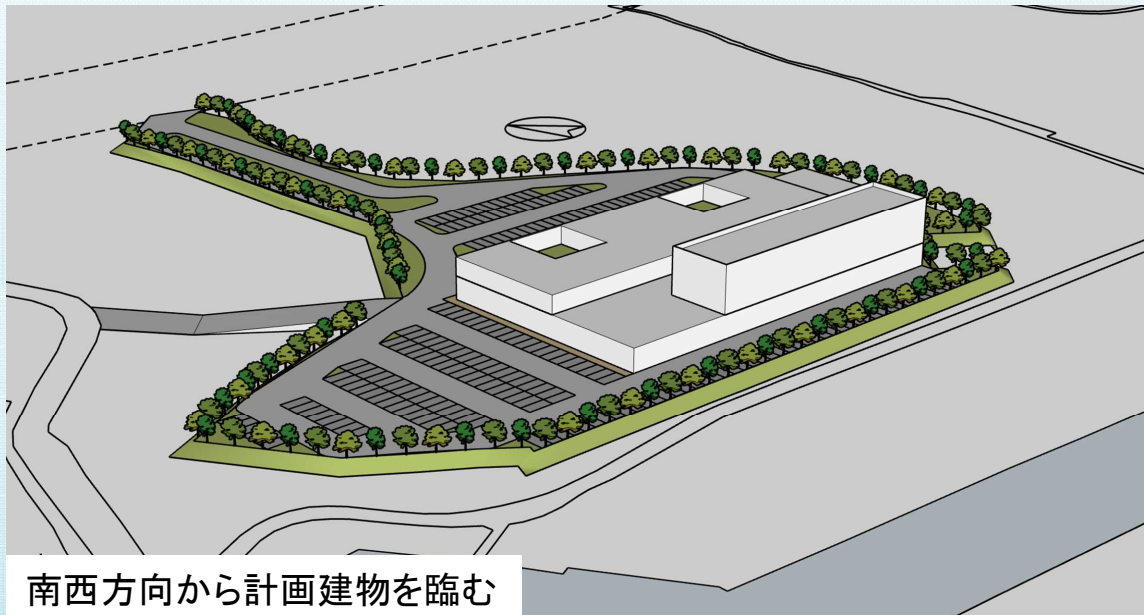
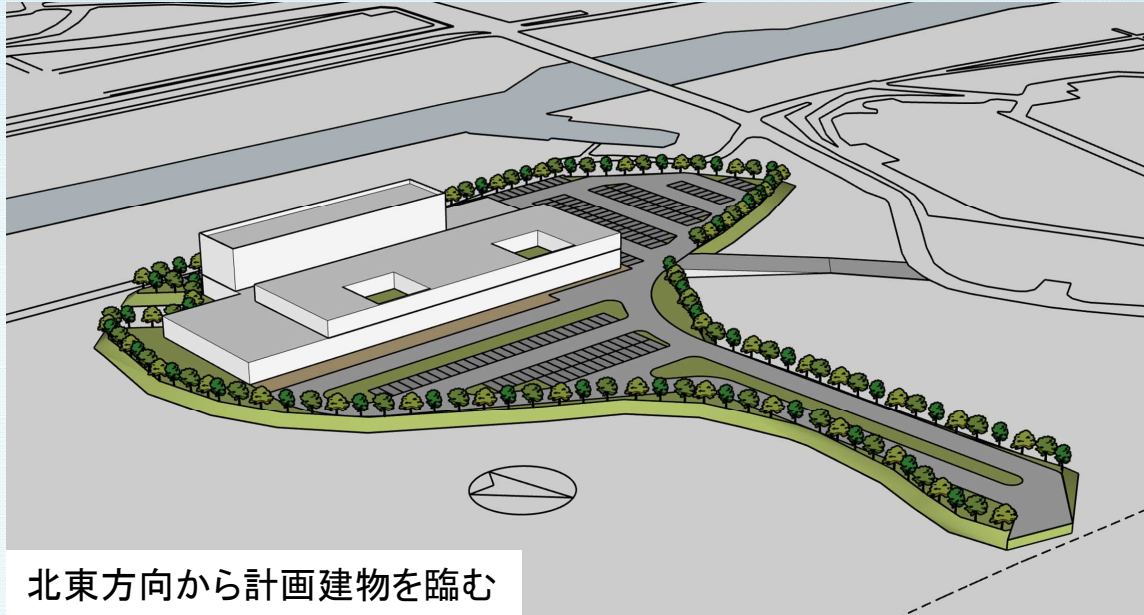
敷地面積	約23,000㎡
規模	延床面積：約6,400㎡ 地上2階
火葬炉設備	標準型：最大15炉（予備1炉） 動物用：1炉 ※2炉に対し1排気系統 ※供用開始時の炉数は設計時に決定
告別兼収骨室	7室
待合機能	待合室：14室 待合ロビー等
葬儀式場	大人数用：1室　　中人数用：1室 ※パーティション等で分割可能
駐車場	一般用、管理用

※諸室の設え等は、特定の宗教等に偏らず誰でも使いやすい施設を検討。

V. 施設概要（予定）（2）施設配置イメージ図



V. 施設概要（予定）（3）イメージパース



V. 施設概要（予定）（４）環境への配慮

整備候補地の周辺環境に十分配慮して、火葬場の工事及び運営を行うことが重要であると考えています。したがって、以下に示すとおり、適切な環境保全のための措置を実施し、周辺環境への影響の低減に努めます。

環境保全のための措置

- ・ 建設機械は、排出ガス対策型及び低騒音・振動型の機種を使用するように努めます。
- ・ 資材運搬車両及び施設関連車両は、排出ガス規制適合車の使用に努めます。
- ・ 環境への影響に配慮した火葬炉設備を導入します。
- ・ 地域に適した樹種を植栽し、緑化及び周辺景観との調和に努めます。
- ・ 周辺の環境に配慮した意匠・色彩等とします。

など

V. 施設概要（予定）（5）概算整備費

本施設の概算整備費の算定を行った結果は、下記のとおりとなります。

	概算整備費（税抜き）
施設整備費 （火葬炉、建物、外構）	約 82 億円
調査・設計費	約 6 億円
造成費	約 20 億円
合 計	約 108 億円

※概算整備費には用地購入、アクセス路及び排水施設等の整備費用は含まれていません。

VI. 施設整備スケジュール

